
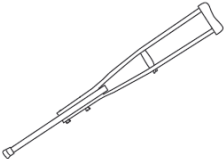

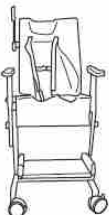

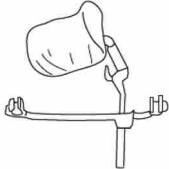

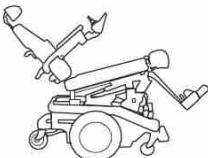


品目	用具の図	用具の説明	対象要件
歩行器		手すりや車輪が付いていて、下肢の負担を軽減しながら歩行できる器具です。 ※難病対象	この用具を必要とする状態にある下肢機能障がい又は体幹機能障がい者（介護保険でレンタルできる方を除く）
歩行補助つえ		身体を支えて歩行を補助するつえです。	この用具を必要とする状態にある下肢機能障がい又は体幹機能障がい者（介護保険でレンタルできる方を除く）
重度障がい者用意思伝達装置		生態現象を利用して、簡単な意思をあらわすことができる機械です。 ※難病対象	両上肢両下肢いずれも身体障害者手帳1級で、かつ言語障がい3級（言語障がいの喪失）の交付を受けた方又はそれに準ずる状態にある方
座位保持椅子		長時間座位姿勢をとることができないお子さん又は、自力で座位姿勢を保持できないお子さんが座っているように作成された椅子です。	この用具を必要とする状態にある身体障害者手帳を持つ18歳未満の児童
起立保持具		立ったままの姿勢を保つ訓練用に作成された器具です。	この用具を必要とする状態にある身体障害者手帳を持つ18歳未満の児童
頭部保持具		車椅子等に装着して、頭部を固定する器具です。	この用具を必要とする状態にある身体障害者手帳を持つ18歳未満の児童
排便補助具		普通のトイレに座って排便できるようになることを目的にした補助器具です。	この用具を必要とする状態にある身体障害者手帳を持つ18歳未満の児童
特例補装具		国が定めた規格以外に上記のような役割を果たす用具を指します。	障がいによって基準で決められている規格外の補装具を必要とする状態にある方

※電動車椅子、特例補装具、義肢の一部には、製作前後計2回、県の面接審査があります。

※支給基準額は各用具の中の種類で異なります。詳しくは職員までお問合せください。

※用具の図は一例です。（公益財団法人テクノエイド協会より用具の図を引用。）